

巻 頭 言



北海道知事 鈴木 直道

北海道の力が 日本そして世界を変えていく

雄大な自然や美味しい食、豊富な温泉や良質な雪といった多彩な魅力を有する北海道には、毎年、海外から多くの方々にお越しいただくとともに、年間輸出額 1,500 億円を目標に取り組んできた食の輸出についても、一昨年には 1,700 億円を超えるなど、「北海道ブランド」はアジアを中心とした海外において、さらなる広がりをみせています。

こうした中、世界的なデジタル化の進展や脱炭素化の動きを追い風として、本道では、次世代半導体製造拠点の整備や AI データセンターの集積、さらには北海道・札幌「GX 金融・資産運用特区」の指定など、国内外からこれまで以上に大きな注目が寄せられており、我が国随一の再生可能エネルギーのポテンシャルなど、本道の新たな強みを活かした海外展開を進める絶好の好機が今、北海道に訪れています。

このように、大きく変動を続ける国際情勢を踏まえ、道では昨年改訂した「北海道グローバル戦略」に基づき、これまでのアジア圏に加え、欧米など幅広い国々との交流を一層進めることとし、より多様な国や地域からの「インバウンド（訪日外国人旅行者）」の集客や食の輸出の拡大、DX や GX に係る投資の呼び込みに向けた取組を、官民一体となって推進しています。

また、全国を上回るスピードで人口減少が進む中、本道では昨年 12 月末現在の在留外国人数が過去最多の 5 万 6,000 人超となるなど、地域の担い手としての外国人材の重要性が一層増していることから、3 年後とされる育成就労の導入も見据えながら、より多くの外国人の方々、長く北海道で働き、暮らしていただけるよう、企業での就労現場はもとより、地域での外国人相談体制や日本語教育環境の充実など、企業や市町村といった地域の皆様と一体となった取組にも力を入れているところです。

今年 7 月に策定した新しい北海道総合計画には、北海道が持つポテンシャルが、本道の発展のみならず、日本、そして世界の発展に貢献していくという強い思いを持って、「北海道の力が日本そして世界を変えていく」というめざす姿を掲げました。国内外から新たな産業や人、投資を呼び込み、誰もが豊かで安心して住み続けられる北海道を目指して、未来を見据えた挑戦を続けてまいります。